

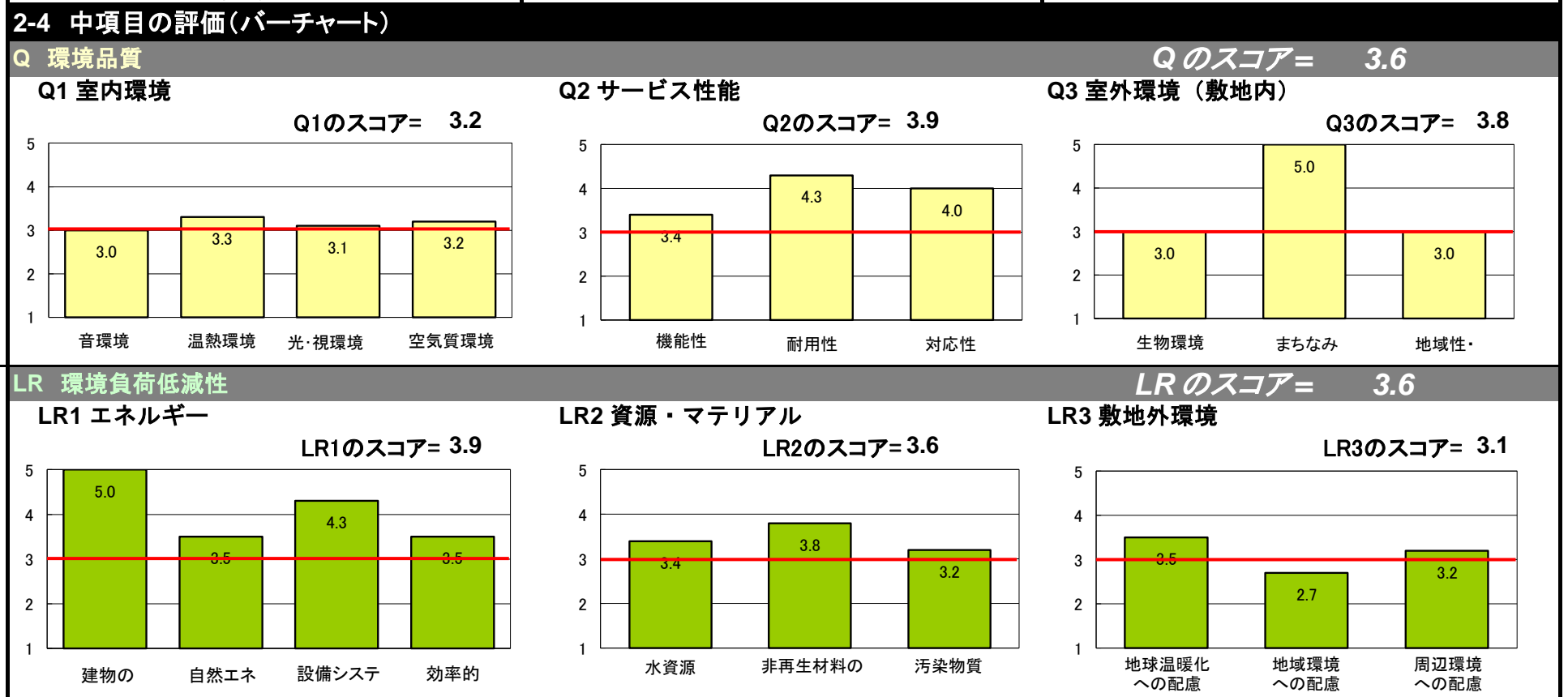
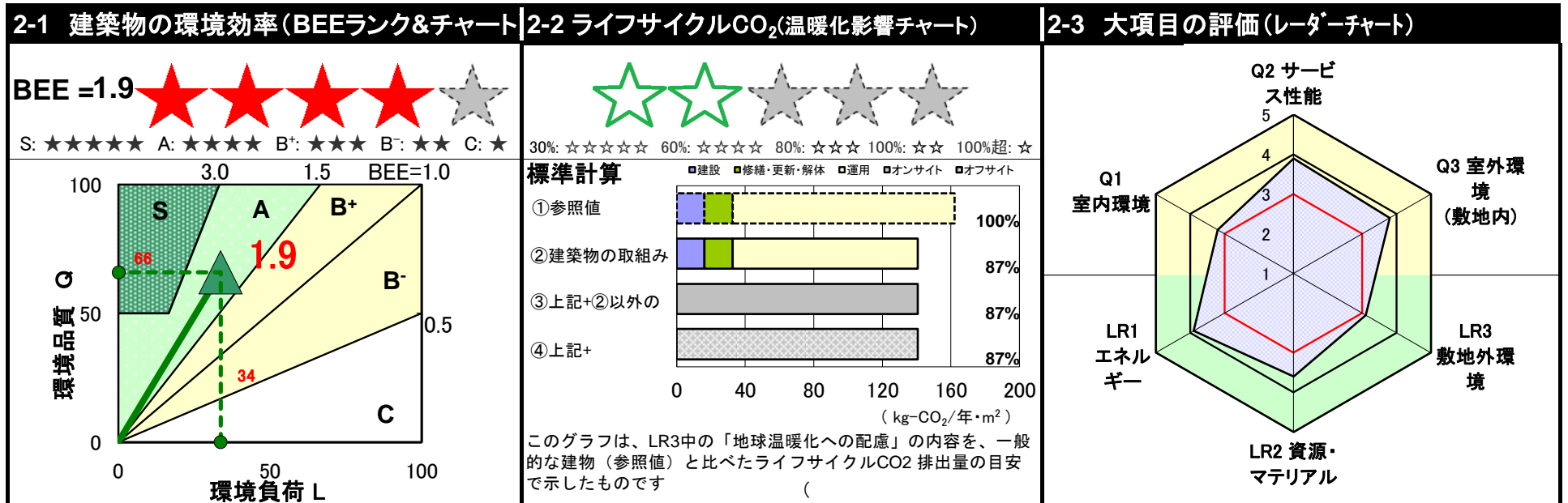
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。

CASBEE® 広島 (2010年ver. 1.8)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2013年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	エネコム広島ビル	階数	地上10F
建設地	広島県広島市東区二葉の里三丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	200人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2015年2月27日
敷地面積	3,386 m ²	作成者	(株)竹中工務店 岩見 厚
建築面積	1,473 m ²	確認日	2014年3月5日
延床面積	13,040 m ²	確認者	(株)竹中工務店 田代真也



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.7

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.8	スコア = 2.8	スコア = 4.3
設計の計画上特段に配慮した事項 ・窓面積の削減により、外皮性能の向上を図った ・電気室への外気冷房の導入 ・LED照明器具採用等による省エネルギー化 ・BEMSを設置しエネルギー管理を可能とする ・節水型衛生器具の採用 ・LED照明器具の採用 ・鉄骨造であり、仕上げと躯体の分離が容易	設計の計画上特段に配慮した事項 適切な駐車場、駐輪場の確保	設計の計画上特段に配慮した事項 ・免震構造建物でレベル2において許容応力度設計 ・免震装置の導入 ・屋外露出ダクトにガルバリウムダクトを利用 ・ビニルライニング鋼管、ステンレス鋼管等を利用 ・各所にパイプスペース、EPS、CS(ケーブルスペース)を設置 ・冷媒配管ルートとして屋外を利用 ・設備機器専用エレベーターを設置 ・発電機増設スペース、室外機増設スペースを確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される